

産衛だより

平成 18 年度第 2 回理事会議事録

日 時：平成 18 年 10 月 21 日（土）13：00～17：00

場 所：公衆衛生協会ビル 3 階会議室

出席者：清水英佑（理事長）、相澤好治（副理事長）、圓藤吟史、大久保靖司、大前和幸、岡田 章、加地正伸、川上憲人、清田典宏、日下幸則、車谷典男、甲田茂樹、河野啓子、小林章雄、斉藤政彦、佐藤 洋、實成文彦、田中勇武、角田 透、能川浩二、浜口伝博、東 敏昭、広瀬俊雄、藤田雄三、芳原達也（以上理事）大本美彌子、徳永力雄（監事）

欠席者：井谷 徹、上田 厚、岸 玲子、杉本寛治、高橋英尚（以上理事）

理事 27 名（委任状あり：井谷 徹、上田 厚、杉本寛治、委任状なし：岸 玲子、高橋英尚）が出席し、定款第 25 条により理事会が成立していることを確認した。

清水理事長の挨拶の後、佐藤洋総務担当理事の進行役で会議が進められた。

議事録署名人に甲田茂樹、河野啓子の両理事を決めた。

[審議事項]

1. 前回平成 18 年度第 1 回議事録は了承された。
2. 産業歯科保健部会規程案等の承認について：藤田理事より規程案の説明があり一部訂正して了承された。また、部長・藤田理事、幹事 23 名が了承された。
3. 日本学術会議声明「科学者の行動規範」について：清水理事長より学会として対応してほしい旨の要望があり、倫理委員会で取扱いを検討することとした。
4. 石綿問題検討委員会議事録について：相澤副理事長より委員長相澤好治・副委員長矢野栄二・事務局長広瀬俊雄が選任されたことの報告があった。今後の方向性・目標として「行政への提案」「学会活動」「リスクマネージメントとリスクコミュニケーションの検討」等を進めることの報告があり了承された。また、助成金追加の検討があり今年度は合計 70 万円の提案があり了承した。
5. 選挙等について：圓藤経理担当理事より今回かぎりで有権者数×200 円を交付することの提案があり了承された。関東地方会にて理事候補者選挙において電子投票が行われる予定であることが、浜口 IT 担当理事より説明された。また、このシステムを応用して総会委任状の提出を電子的に行うことが検討された。1 月の理事長選挙広報を HP で行うことが了承された。
6. ミラノ世界労働衛生会議について：川上理事よりスウェーデン国立職業生活研究所（Swedish National Institute of Working Life SNIWL）の閉鎖に関するスウェーデン政府の決定に対する抗議の手紙の撤回のお願い状を理事長名で理事全員の名を載せて支援することを了承した。
7. 会員メールアドレスのアップデートについて：川上理事よ

り会員に正しいものを入力してもらうには HP に訂正方法を載せることで了承した。

8. 産業看護部会幹事追加について：河野理事より新幹事として高橋悦子氏（労研）の推薦があり了承された。
9. 次回理事会開催日について：大前総務担当理事より次回は 12 月 9 日に東京八重洲ホールで開催、次々回は新理事と合同で 3 月 17 日に開催することとした。

[報告事項]

1. 第 79 回日本産業衛生学会について：佐藤企画運営委員長より決算報告があり本部からの助成金が 525 万円で済んだことの報告があった。今後学会開催形式に関して一貫性をもたせ継続性をもってほしい旨の提案があった。
2. 第 16 回産業医・産業看護全国協議会について：日下理事より参加者約 700 名があり盛況であったことの報告があった。
3. 第 80 回日本産業衛生学会について：圓藤企画運営委員長よりシンポジウム・教育講演等の日程説明があった。
4. 産業医部会報告について：岡田理事より各地方会における活動の実態アンケート調査の結果報告があった。
5. 産業看護部会報告について：河野理事より「職場のメンタルヘルス対策における産業看護職の役割」に関する報告書ができ、労働衛生課長に提出したとの報告があった。この報告書を HP に載せることを了承した。また、産業看護師数は 1,178 人との報告があった。
6. 産業衛生技術部会報告について：田中理事より幹事会要旨の説明があり 19・20 年度体制として部長名古屋俊士・副部長名加藤隆康・田中茂氏となることの報告があった。
7. 専門医制度委員会報告について：東理事より登録者数（指導医 259 人、専門医 131 人、研修登録医 404 人）の報告があった。また、19 年度試験日程（8/25・26）の報告があった。
8. 会員の状況について：大前総務担当理事より正会員 7,304 人（10 月 12 日現在）の報告があった。
9. 協賛・後援等について：大前総務担当理事より＜日本学術会議・後援＞＜日本睡眠環境学会・協賛＞＜これからの女性の健康研究会・後援＞＜日本労働衛生工学会・協賛＞＜人間—生活環境系学会・協賛＞＜メデイカルトリビューン・後援＞＜国際生気象学会議・協賛＞をしたとの報告があった。
10. その他
 - ①生涯教育委員会からの委員会規則に関する意見具申について：車谷理事より第 4 条（2）の修正提案があり了承された。学会の教育の場として活動し、委員会からもテーマ・資料等活動の内容を理事会に提出していくこととした。
 - ②日本医学会分科会助成金について：圓藤経理担当理事より助成金（20 万円）が中止となり、日本医学会の新たな活動に使わせてほしいとの理由であるとの報告があった。
 - ③第 3 回卒後臨床研修・産業保健指導医講習会：小林理事より 19 名の参加があったとの報告があった。今後は要望があれば行うこととした。
 - ④日中韓会議について：東理事より 2007/5/20～22 開催の参加のお願いがあった。